

社会基盤メンテナンスエキスパート(ME) 養成講座

愛媛大学



目的と背景

我が国の豊かな生活を支える社会基盤の多くは高度経済成長期以降に急速に建設されたことから、それらが急速に建設後 50 年以上の高齢に達する時代が目前に迫っています。一方、我が国の社会情勢は少子高齢化による人材(技術者)や予算の確保が難しい時代へと推移し、社会を取り巻く環境は年々厳しさを増しています。そのような中で社会基盤の安全を守るための維持管理に適切に対処するためには、技術開発による各種構造物の点検・補修・補強の高度化はもちろん、俯瞰的な視野から各自の専門や所属の垣根を越えて地域の総力でもって維持管理に取り組むために、その中核を担う総合技術者の育成が喫緊の課題となっています。

そのため、愛媛大学では社会基盤の維持管理に取り組む技術者の養成を産官学協働で実施する教育プログラムとして「社会基盤メンテナンスエキスパート (ME) 養成講座」(以下、「ME 養成講座」という)を平成 26 年度 (2014 年度) より開設しています。この ME 養成講座は愛媛大学の「履修証明プログラム」として文部科学省の「職業実践力育成プログラム (BP)」に認定されるものです。

ME とは？

“ME”とはメンテナンスエキスパート (Maintenance Expert) を略したものです。四国社会基盤メンテナンスエキスパート (四国 ME) の技術者資格は、ME 養成講座を受講し認定試験において一定基準以上の成績を修めた受講生に対して、講座の履修証明書の交付とともに授与されます。これより、四国 ME は社会基盤 (インフラ) の維持管理技術に関わる高度な知識と技術を有する技術者集団として四国地域のインフラメンテナンスの中核を担う総合技術者に認定されます。

現在、四国 ME は令和 3 年度 (2021 年度) までに第 8 期修了生を輩出し、認定総数は 181 名に達しています。

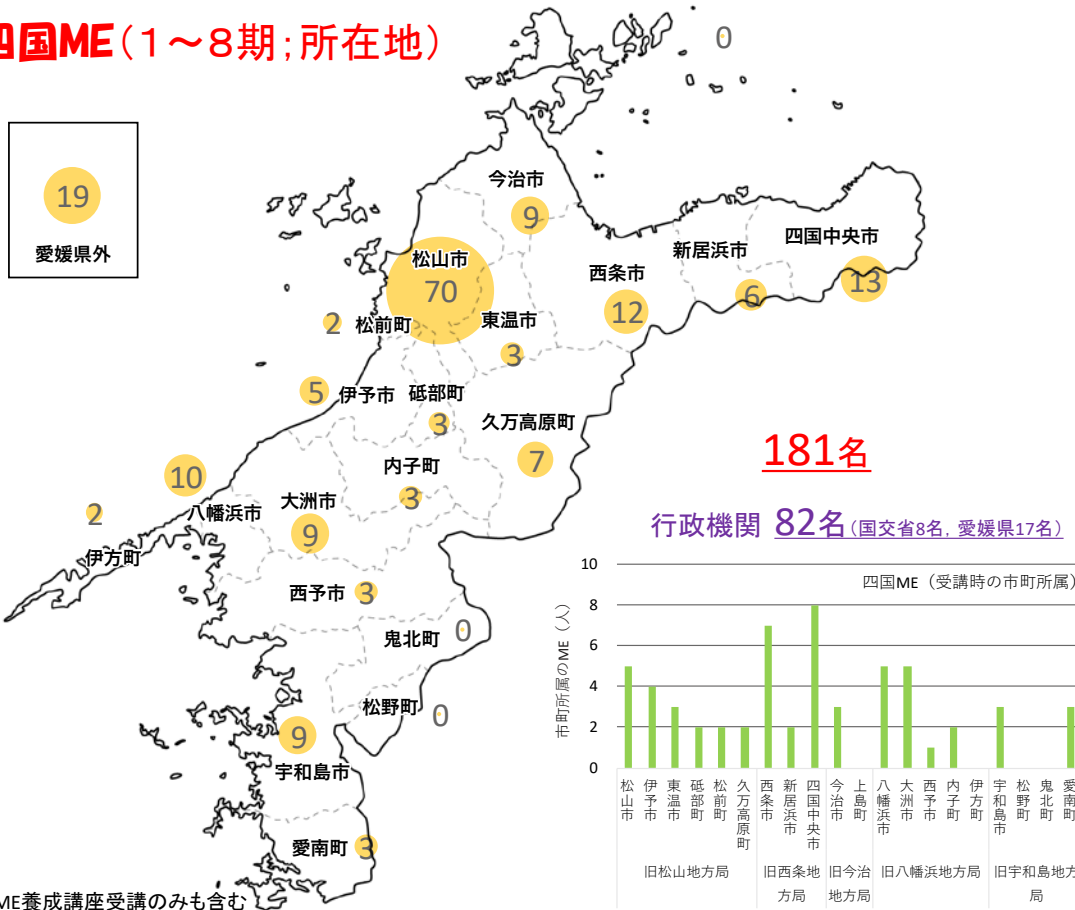
所属別の構成人数

年度	所属	行政機関				民間会社				
		国交省	愛媛県	市	町	公益会社	コンサル	建設会社	測量会社	その他
2014 (H26)		1	2	6	1	2	8	2	1	1
2015 (H27)		1	2	6	4	1	5	1	0	1
2016 (H28)		1	2	6	0	1	9	0	4	0
2017 (H29)		1	5	5	3	1	9	1	4	2
2018 (H30)		1	0	8	1	0	7	3	1	1
2019 (R01)		1	2	7	1	0	9	3	2	0
2020 (R02)		1	3	3	0	0	7	1	3	2
2021 (R03)		1	1	5	1	0	6	1	0	0
合計		8	17	46	11	5	60	12	15	7
		82				99				

※所属は ME 養成講座の受講時



四国ME(1~8期;所在地)



年齢別の構成人数

年度	20代		30代		40代		50代		60代
	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64
2014 (H26)	0	0	2	4	7	6	3	1	1
2015 (H27)	0	1	2	8	7	3	0	0	0
2016 (H28)	0	3	0	7	8	4	0	1	0
2017 (H29)	2	2	10	4	7	4	0	2	0
2018 (H30)	0	6	2	4	6	3	0	1	0
2019 (R01)	0	5	5	8	0	7	0	0	0
2020 (R02)	1	4	5	3	4	2	1	0	0
2021 (R03)	0	0	2	8	2	3	0	0	0
合計	3	21	28	46	41	32	4	5	1
	24		74		73		9		1

※年齢は ME 養成講座の受講時



ME 養成講座について

■ 目指すこと

行政（管理者）と民間（実務者）の各組織の技術者が所定の科目を共に履修し、両者が高度な知識を持つことで、総合技術者の育成と技術者相互の連携を目指します。

■ カリキュラム

学びの流れ：座学（講義）⇒ 演習⇒ 実習（フィールド）のように段階的に学習を進めます。

学びの時間：延べ 12 日間（8 月下旬～ 10 月上旬）、合計約 120 時間の学習を行います（下表）。

講座期間	科目シリーズ
前半（第 1～2 日）	インフラマネジメント (1)
（第 3～5 日）	橋梁のメンテナンス
（第 6～7 日）	トンネルのメンテナンス, 下水道のメンテナンス
後半（第 8～10 日）	港湾・海岸施設, 河川構造物, 斜面・擁壁の各メンテナンス
（第 11～12 日）	地質・地盤と災害, 維持管理の新技術, インフラマネジメント (2), メンテナンス技術者倫理, ワークショップ

■ 講師

愛媛大学等の大学教員に加え、国・県・市・民間から学外専門家を講師として招請します。

■ 募集人員

25 名（社会情勢等により増減の場合あり）

■ 受講資格

ME 養成講座の受講者は、以下の要件を満たす土木・建設系の技術者を対象とします。

- (1) 官公庁等の土木技術者：社会基盤の維持業務を 3 年以上経験またはそれと同等以上の能力を有している者
- (2) 建設業界の土木技術者：社会基盤の点検・調査, 構造物の新設・補修・補強に係わる設計・施工管理業務を実施した経験を 3 年以上有している者
- (3) その他：各要件を個別に満たしていないが、所属機関における実務経験（複数機関での経験含む）により同等の要件を満たすと愛媛大学が認めた者

■ 受講から資格取得までのスケジュール

- ・ 5 月末頃：ME 養成講座募集要項公表（HP）
- ・ 5 月末頃～6 月末頃：受講申込申請受付
- ・ 6 月末頃：受講者審査, 受講者合格通知
- ・ 7 月初旬～7 月末頃：受講に係る諸手続き
- ・ 8 月初旬～8 月末頃：e ラーニング学習
- ・ 8 月末頃～10 月前半：講座受講（計 12 日間）
- ・ 11 月中旬：認定試験実施
- ・ 12 月上旬：審査結果発表
- ・ 1 月初旬：認定証授与式

■ 申込み方法

募集要項（愛媛大学防災情報研究センター HP に掲載）より、応募書類を募集期日までに ME 養成講座の事務局へ提出してください。愛媛大学において申請書類を審査し、受講の可否を決定します。受講費用は 18 万 5 千円で、厚生労働省の「人材開発支援助成金」等が申請できます。認定試験に合格後の四国 ME 資格の登録料は別途 3 千円です。

■ 四国 ME 資格の活用

四国 ME は国土交通省の規定を満たす“公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格”（民間資格；下表）に認められています。今後は、地方自治体においても、土木施設の維持・補修（補強含む）工事に関わる技術者資格として評価されることが期待されます。

施設分野	業務	知識・技術を求めるもの
橋梁（鋼橋）	点検／診断	担当技術者
橋梁（コンクリート橋）	点検／診断	担当技術者
トンネル	点検／診断	担当技術者

■ 問い合わせ先

愛媛大学防災情報研究センター URL ▶ <https://cdmir.jp/> 及び <http://www.cee.ehime-u.ac.jp/me/>
TEL / FAX ▶ 089-927-9021 E-mail ▶ kensien@stu.ehime-u.ac.jp